

早生品種の刈取りがスタート！ 中生品種も間もなく刈取適期です！ 稲穂を確認し、的確な診断で適期に刈取りを！

やまがた温暖化対応米づくり日本一本部

◎今後の気象

気象庁の1か月予報によると、今後も気温は高く推移する見込みとなっています。出穂期は平年より早く、出穂後も高温で推移していることから、**刈取適期は平年に比べて、かなり早くなる**見込みです。すでに、早生品種の一部では刈取りが始まっています。

◎登熟状況

8月20日時点の登熟歩合は、農業総合研究センター水田農業研究所の調査圃（鶴岡市）の「はえぬき」で22.6%となっています（図1）。今後の高温で、登熟が急激に進む可能性が高いため、稲穂の状態をよく確認し、刈取適期になったら速やかに刈取りに入れるように準備を進めましょう。

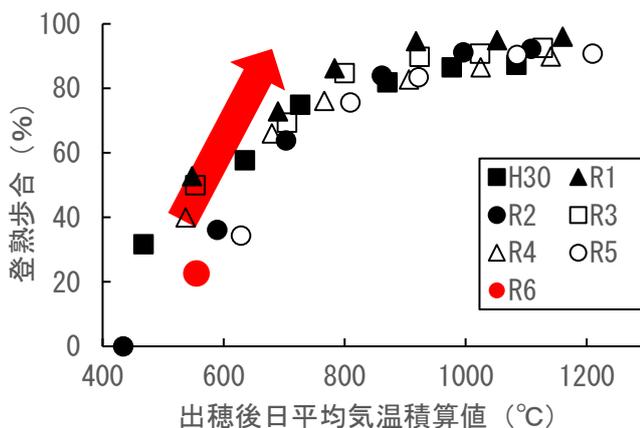


図1 出穂後日平均気温積算値と登熟歩合
(水田研「はえぬき」作況圃、8/1出穂、8月20日現在)

表1 各品種の刈取始期

	はえぬき	雪若丸	つや姫
村山	9/5(-8)	9/5(-7)	9/12(-10)
最上	9/9(-9)	9/10(-8)	9/13(-12)
置賜	9/5(-9)	9/4(-9)	9/13(-10)
庄内	9/4(-4)	9/5(-6)	9/12(-6)
県平均	9/6(-6)	9/6(-6)	9/12(-8)

注1) カッコ内の値は平年との差を示す。

注2) 各地域の生育診断圃の出穂期、最寄りのアメダス地点実測値及び予測値から算出した。

注3) 刈取始期の目安となる積算気温は「はえぬき」900℃、「雪若丸」950℃、「つや姫」950℃。

◎刈取適期

刈取適期は、出穂後日平均気温の積算値（積算気温）を目安に、枝梗の黄化、青籾歩合、籾水分、倒伏程度なども加味して総合的に判断します。

刈取始期は、平年に比べて4日から12日程度早まると予想されています（表1）。刈り遅れると薄茶米が発生したり玄米光沢が低下するなどして品質が低下するため、適期であることが確認されたら、速やかに刈取りに入りましょう。

農作業事故と熱中症に十分注意してください！

農作業は休憩と水分を十分にとりながら、余裕を持って複数人数で作業を行いましょう。コンバイン使用時等、収穫作業時における重大事故に注意しましょう。 **STOP農作業事故！**